

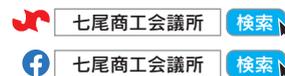
ななお

会議所だより

Nanao Chamber Of Commerce And Industry



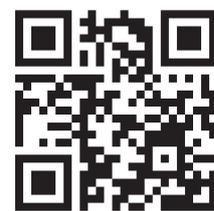
<https://www.nanao-cci.or.jp>
mail:office@nanao-cci.or.jp



100

nanao 100 project

“次の100年”につながる
七尾のプロジェクト



<https://n-100.net/>

第145回 通常議員総会

七尾商工会議所



第145回 通常議員総会

令和4年度の事業計画・収支予算を承認

七尾商工会議所は3月30日（水）、当所2階ホールで第145回通常議員総会を開催し、役員・議員・評議員ら53人が出席しました。

開会にあたり、大林会頭は「令和3年度を振り返ると、七尾SDGsコンソーシアムを産学官金の連携協定で設立、のと・七尾共創塾の設立、能登SDGs市民大学の開講とさまざまな試みがあった。新年度はそれらの実際の効果を引き出すための活動が求められる。また、これまで中止されてきた行事の復活など、コロナ禍から一歩ずつ踏み出す動きがみられる、新しいスタートがえられるように期待を込めたい」と述べました。

議案審議では、令和4年度事業計画・収支予算のほか、運営資金一時借入限度額や特定商工業者負担金、常議員会に委任する事項、会員加入などについて審議され、原案どおり承認されました。（令和4年度に取り組む事業計画の概要は3ページ以降に掲載）

北原副会頭は「お互いに協力し合い、連携する企業力が大切である。金大との連携、SDGs推進、七尾100プロジェクトなどいろんな形の事業が具体化し、地域力・組織力が形になってきたと実感している。今年も引き続き、地域力・組織力を強めていきたい」と閉会の挨拶を述べました。

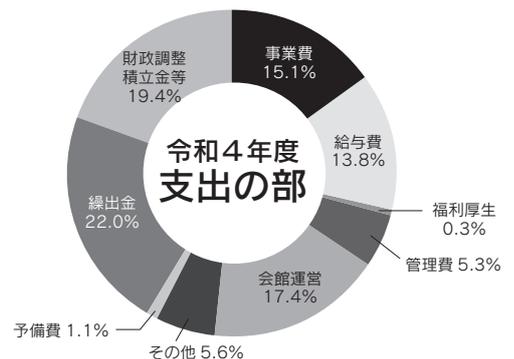
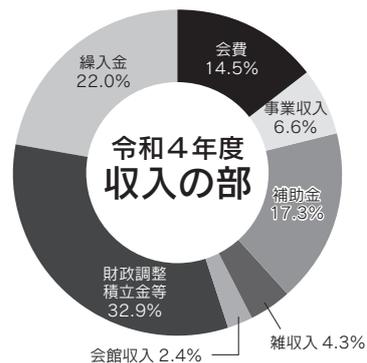
令和4年度 収支予算総括表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:千円)

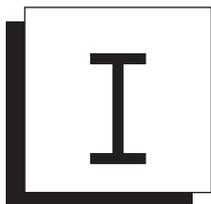
会計別	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比較増減 (A)-(B)
一般会計	61,670	64,710	△ 3,040
七尾中小企業 相談所特別会計	59,620	85,770	△ 26,150
法定台帳関係費 特別会計	3,490	2,920	570
共済事業 特別会計	18,110	18,890	△ 780
会館運営 特別会計	56,280	90,830	△ 34,550
財政調整特別 積立金特別会計	76,120	54,520	21,600
退職給与資金 特別会計	43,530	34,670	8,860
合計	318,820	352,310	△ 33,490

予算内訳



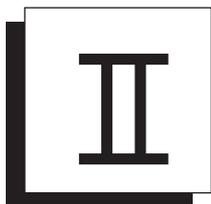
令和4年度

重点事業



【企業力】を形に！

- 事業や雇用を守り、地域経済の底割れを防ぐー3つの観点
 1. コロナ禍における経営強靱化支援の推進
 2. 新たな経済社会への変化対応支援の推進
 3. 地域経済の稼ぐ力向上の取り組み推進



【地域力】を形に！

- コロナ禍の先を見据えた地方創生とSDGs推進ー3つの観点
 1. 持続可能な地方創生とSDGsプロジェクトの推進
 2. 持続可能な移動交通サービス導入の推進
 3. 持続可能で多様な人口創出事業の推進



【組織力】を形に！

- 会員活躍のための組織活動強化ー3つの観点
 1. 会員活躍と参加機会の拡充と推進
 2. 七尾市や大学等との連携プロジェクトの推進
 3. 経営支援業務の改善・整備の推進

○持続可能な能登・七尾の経済社会創造の取り組みを次代に引き継ぐ事業

【のと・七尾共創塾】

七尾の将来、ひいては能登の新しい時代を拓く使命感を持ち、地域の未来創造に挑戦する後継者育成と産学官金各セクターの志を持つ若手の融合、地域活力共創の場

【能登SDGs市民大学】

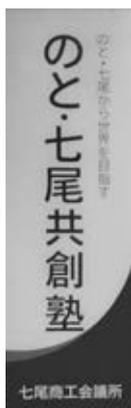
幸せな地域社会や経営の未来を実現するために、国連で採択された持続可能な開発目標・SDGsを能登の視点で学び、協働で創造しようとする人材を育成する市民大学

【七尾100プロジェクト】

七尾の未来活力創造の思いを持つ人々の自発性で始まり、取り組まれている地域を元気にするアイデア・組織活動の支援を通じ、持続可能性の夢実現を推進する事業

【七尾湾ブルーカーボンプロジェクト】

地域の持続可能性の観点から世界に誇る貴重な「里山里海」の恵みを守り育て、引き継ぐために、のと・七尾共創塾から派生した七尾湾の藻場再生実証の取り組み



部会・委員会 事業計画

部会

関係業種の改善発達を図るための事業ほか、部会員の啓発、情報交換

商業部会



久保 晋 部会長
(株)ののと
 代表取締役

【基本方針】 能登七尾の活力創出における商業振興の重要性を踏まえ、地域関係者との連携をもとにした個店強化と地域活性化の観点からの商業機能再生への貢献を基本方針とし、商業者が共同意識をもとにライフスタイル変化や顧客志向に応じた潜在市場の開拓に取り組めるよう、そして地域を共にする生活者が日常的に集い、コトを楽しむことのできる場として選ばれようとする商業環境づくりに努めます。

- 【基本計画】**
- ①会員アンケート結果に基づく今後の商業ビジネスの方向性と方策等、商業振興策提案
 - ②駅前を中心とする中心市街地再生への貢献
 - ③地域密着型コミュニティの場の形成に向けた商店街活動の支援
 - ④IT活用による利便性、生産性向上を通じた経営強化や商店街誘客活動の支援

【主な業種】 各種商品小売業（商店）、飲食料品小売業、織物・衣料品・身の回品小売業、家具・什器・電化製品小売業、自転車小売業、薬局、その他の小売業、各種商品卸売業、繊維・衣料等卸売業、飲食料品卸売業、建築材料卸売業、鉱物・金属材料卸売業、その他の卸売業、菓子製造販売などの製造小売業

工業部会



宮崎 博 部会長
(株)近藤鉄工建設
 代表取締役

【基本方針】 産業振興は、持続可能な地域社会を構築する上で極めて重要な施策です。そこで工業部会では、ものづくり振興の観点から個社・業界発展への貢献、ひいては能登七尾の創造的地域創生に資する活動を行うことを基本方針とし、その実現のために大学や先進地、公設試験場・自治体等との連携を深め、技術革新への対応支援や経営に関する施策普及などを通じ、市内製造業の活性化に取り組みます。

- 【基本計画】**
- ①優れた製造技術の学びと交流を通じた革新と成長機会の提供
 - ②設備更新、省エネ・自動化、IT対応ほか、各種補助金等の活用促進と支援
 - ③働き方改革など労務問題の対応支援

【主な業種】 金属製品製造業、非鉄金属製造業、機械器具製造業、電気機械器具製造業、食料品・飲料製造業、繊維工業、衣料・繊維製品製造業、窯業・土石製品製造業、木材・木製品製造業、印刷・同梱連業、家具・装備品製造業、プラスチック製品製造業、紙・紙加工品製造業、鉄鋼業、電気業、ガス業など

サービス業部会



木下義隆 部会長
丸一運輸(株)
 代表取締役社長

【基本方針】 経済社会はもとより、個人生活においてもサービス業の重要性が一層と増す中で、多様な業種で構成されるサービス業部会の特色を活かした業界ならではの情報の提供・交換による経営課題解決への貢献を基本方針とし、部会員や他部会との交流を通じて集約した会員ニーズを事業に反映するなど、会員参加型の部会運営を行うことにより、サービス産業の活性化や経済のサービス化への対応支援に取り組みます。

- 【基本計画】**
- ①当部会の特色である専門業種情報の提供を通じた部会員・他部会員への貢献
 - ②多種多様な業種の部会員相互の交流と意見集約
 - ③他部会員を含む構造的出人不足の克服に資する事業

【主な業種】 旅客自動車運送業、病院、療術業、医療福祉業、理容業、美容業、弁護士、税理士、社会保険労務士、弁理士など専門サービス業、情報通信業、クリーニング業、不動産業、浴場業、娯楽業、配達飲食サービス業、駐車場業、ビルメンテナンス業、学校法人・各種学校、協同組合など

建設業部会



姥浦昭二 部会長
アオイ建設(株)
 代表取締役会長

【基本方針】 市内建設事業者の健全な事業経営を促進するため、事業機会の創出・確保に貢献するとともに、建設業部会において業種団体が有機的に連携することにより、技術水準の向上などの必要とされる情報交換の場としての役割を担い、併せて、都市構想や災害に強いまちづくりの実現に向けた取り組みなどを通じ、業界・地域経済の活性化及び能登七尾の創造的地域創生への貢献に努めます。

- 【基本計画】**
- ①市内事業者の入札参加機会確保及び公共・民間工事受注促進活動
 - ②自治体職員による研修会と意見交換会
 - ③まちづくりと事業機会創出に資する七尾市への要望

【主な業種】 総合工事業、職別工事業、設備工事業、建築工事業、土木工事業、大工、とび、塗装業、電気工事業、管工事業、給排水・衛生設備工事業、造園業、測量業、リフォーム業、レンガ・タイル・ブロック工事業、床・内装業、屋根工事業、鉄骨工事業、鉄筋工事業、建設コンサルタントなど

観光・料飲業部会



多田計介 部会長
 ㈱美湾荘
 代表取締役

【基本方針】 コロナウイルス感染症の終息が見えない中、コロナウイルス終息後の観光業と料飲業の連携による観光と食文化の一体的な魅力の磨き上げに努めるとともに誘客拡大と料飲業振興を通じて市内経済の発展に貢献し温泉観光はもとより食の魅力を絡めた賑わいづくりや史跡・祭り情報発信により、魅力ある地域づくりに取り組みます。

【基本計画】 ①能登半島を龍の頭とする観光庁認定広域観光周遊ルート有効活用
 ②SNS等による食の魅力発信、花嫁のれん館などの商店街・市街地周遊ルート、七尾城跡、山の寺ほか観光資源の多言語解説の推進や歴史的魅力の発信
 ③七尾城プロジェクト協議会との連携、情報発信など

【主な業種】 旅館業、ホテル業、旅行代理店業ほか観光・旅行関連業及び飲食店、料亭、すし店、日本料理店、中華料理店、ラーメン店、焼肉店、そば・うどん店、お好み焼き店、喫茶店、バー・スナックほかの飲食店

委員会

商工業や地域の総合的な改善発達を図るうえでの重要事項の調査研究

商工会議所運営委員会



瀬上 博 委員長
 ㈱よつば
 代表取締役

【基本方針】 運営委員会は、令和4年度スローガン「コロナ禍を乗り越え、前に進むために！～コロナ禍の経営支援と能登七尾の創生に向けたイノベーションの機会～」のもと、集まった委員会メンバーと共に七尾商工会議所の事業、活動が円滑に運営されるよう事前準備を含め各委員会との連携を強固にし、職務を遂行します。

また、新しく多様な人材を発掘し今と次代を繋ぐ、新しい商工会議所のあり方を創造します。

【基本計画】 ①部会長・委員長会議の開催
 ②会員が集まりやすい会館の構築
 ③新規会員の開拓
 ④正副会頭の講演会の開催
 ⑤他団体との交流

地域振興委員会



田村行利 委員長
 ㈱田村工業
 代表取締役社長

【基本方針】 能登の中核七尾市の未来発展に向けた、活力ある地域づくり・地域資源に関する研究提言を基本方針とし、新たな情報や技術を導入・活用しながら、内外との情報交換や連携を密にし、歴史文化や食などの魅力ある地域づくりに向けた事業の推進を図るとともに、総合的な発展に貢献するための活動を行います。

【基本計画】 ①他地域との意見交換会・研修視察
 ②各部会との意見交換会
 ③七尾城・小丸山城址公園の整備活用
 ④地域資源を高めるためのインフラと交通網整備の提言
 ⑤地域資源の保護・活用に向けた研究
 ⑥文化・スポーツを観光資源として活かす取り組み

中小企業振興委員会



政浦義輝 委員長
 第一印刷㈱
 専務取締役

【基本方針】 中小企業を取り巻く経済環境に多くの課題を抱える中、産学官連携による産業イノベーションを生み出す取り組みを通じて、地域経済の活性化や雇用拡大、能登の里山里海ブランド構築を目指すとともに、グローバルな視点での販路拡大や関係人口の創出についての調査研究を行うなど、地域の経済課題の解決へ繋げる活動に努めます。

また、持続可能な開発目標であるSDGsや循環型経済、デジタル技術活用により質の高い社会づくりを目指すSociety5.0への対応など、産業が拠って立つ地域の持続可能性と企業の対応や社会のあり方そのものを考え、中小企業の振興に貢献します。

【基本計画】 ①「能登の里山里海」産学官連携による新ビジネス創出事業
 ②インバウンド振興を通じた販路拡大推進事業
 ③関係人口創出事業

七尾の未来 構想委員会



木下徳泰 委員長
株式会社 丸一観光
代表取締役

- 【基本方針】** 七尾市及び能登の豊かな都市形成に関する近未来ビジョンを描き、能登七尾の持続可能な地域づくりに貢献することを基本方針とし、七尾市を中核とする能登の地域創生の具現化に取り組みます。
- ①あなたのビジョンがまちのビジョンに ②不易流行 ③だれ一人取り残さない
- 【基本計画】**
- ①七尾100プロジェクト
 - ・能登全域で連鎖的にプロジェクトを起こし応援し合う仕組構築とサイト作成
 - ②七尾未来アワード
 - ・七尾100プロジェクトに掲載されたプロジェクトを対象としたアワード
 - ③コミュニティ財団設立に向けた準備
 - ・地域経済循環と七尾の未来をつくるためのインフラとしてコミュニティ財団を構想し、七尾市と連携して設立に向けた準備を進める
 - ④能登未来会議
 - ・七尾で活動する各団体の描く未来を共有する場を定期的開催する

IT情報化推進 特別委員会



小田與之彦 委員長
株式会社 加賀屋
代表取締役社長

- 【基本方針】** ITによる企業や地域のデジタル革命社会への対応と活用支援が広がる中、当委員会としては、先端IT技術を駆使した企業のイノベーション対応支援や身近なIT活用による生産性向上支援のほか、持続可能な地域社会実現のための都市のスマート化など、創造的地域創生に向けた研究活動、先進地視察を行います。
- 【基本計画】**
- ①会員企業向けアンケート調査の実施
 - 会員企業向けにアンケート調査を実施し、地域の実情の把握を把握し、今後の活動に向けての調査・研究する
 - ②企業規模に応じたITの活用、導入による生産性向上支援
 - 規模に見合った使いやすい身の丈IT活用の普及をするため先進企業、先進地視察を行い、活用方法を調査・研究する
 - ③講演会、セミナー、勉強会の実施
 - テーマに応じた講師を招き講演会、セミナー勉強会を実施し、IT・AI・DXに対する理解を深める

青年部・ 女性会

青年経営者、女性リーダーの研鑽、資質向上と地域貢献

青年部



尾古隆史 会長
フタバ・コーポレーション(株)
代表取締役

- 【基本方針】** 令和4年度の活動スローガンは、「令和今こそYEG！楽しくみんなで未来のために」です。コロナ禍で活動が制限されている中でも活動に対する歩みをとめては未来のためにならない。自分のため、みんなのため、地域のために青年部一同、楽しく未来のために今年度は活動します。
- 【基本計画】**
- ①令和5年全国大会実行委員会への支援
 - ②会員拡大、会員研修事業（研修委員会）
 - ③メンバーが楽しめる交流会（交流なかよし委員会）
 - ④全国大会七尾分科会事業（分科会準備室）
 - ⑤ドレッシング・ソースのPR事業（分科会準備室）
 - ⑥SNS等を活用した情報発信（総務広報部）

女性会



沢野千穂子 会長
株式会社 沢野組
取締役

- 【基本方針】** 女性リーダーの資質向上と商工会議所事業への協力を通し、商工業の振興に寄与するとともに、併せて一般社会福祉の増進と会員相互の親睦と連携を図ることを目的としています。地域経済の担い手たる企業の女性リーダーの集まりとして自己研鑽に励むとともに、地域に根ざす企業人として地域の発展と次代の後継者により良い社会を残すため、今後を見据えた事業活動に積極的に取り組みます。
- 【基本計画】**
- ①組織の拡充と強化
 - ・会員加入の促進、委員会の充実、会員交流事業の実施
 - ②会員資質向上及び経営対策
 - ・講演会・講習会、視察研修、各商工会議所女性会との連絡提携
 - ③商工会議所事業に対する協力
 - ・各種事業への協力、各種イベントの積極参加



令和3年度卒業式を開催・3月定例会を開催

当所青年部（会長：瀬口功雄）は、3月28日（月）、令和3年度卒業式を和倉温泉「あえの風」にて行い、永年にわたり、青年部をリードしてきた卒業会員5名のうち4名、現役メンバーが出席し、開催しました。

式では、卒業会員一人一人がこれまでの青年部活動を振り返り、青年部活動で学んだこと、思い出話などを



左から今井徹さん、伊藤隆行さん、三井貴幸さん、山岸充さん

をスピーチし、現役メンバーから卒業生に向けて感謝の気持ち、はなむけの言葉を贈りました。

卒業会員は、現役メンバーにこれからはOBとして青年部を見守り、いろんなアドバイスをしていくことを誓い卒業式は終了しました。



卒業生を囲んでの記念写真（写真撮影の為、マスクを外しています）

建設業部会 “地元の工事は地元の業者へ” ～ 部会員名簿『七尾市内の工事屋さん』が完成～

当所建設業部会（姥浦昭二部会長）は3月24日（木）、当所で3月定例会を開催し、完成した部会員名簿の確認と配布等及び次年度事業計画（案）について意見交換しました。

姥浦部会長は冒頭、「名簿作成に当たり、部会役員有志から協賛の同意を賜り、協賛金を頂きました事に心からお礼申し上げます」と挨拶しました。

最初に、この部会員名簿『2022年七尾市内の工事屋さん 会員名簿 七尾商工会議所建設業部会』は、今年度部会役員会の承認を得て昨年後半より作製を進めて参り、令和4年3月に出来上がりました。

名簿作成においては、1月末日現在の部会員268事業者全員に掲載内容（企業概要と掲載希望業種）のご照会票をお送りして、102事業者から回答を頂きました。

特徴は、工事内容が分かりやすい業種として49業種に区分して、掲載希望業種に基づき複数の業種区分に掲載されていることです。照会票の回答がなかった場合は、会議所名簿の記載内容で名簿を作成致しました。

配布については、商工会議所会員、地元有力企業、諸官庁にお届けし、当所会員には本4月号と同時に配

布します。

また、市民への周知とPRのため、地元新聞への完成した名簿の記事掲載をお願いすることも検討しています。

次に、令和4年度事業計画（案）について、1期3箇年の最後の年の活動としては、部会が市へ要望した「遊休公共施設の有効活用について」を推進することが、当部会や地元業界への好影響に繋がる取り組みとして、次回定例会での具体的な計画を検討するとしてしました。

最後に、姥浦部会長は「この部会員名簿は“地元の工事は地元の業者へ”を狙いとしており、実効ある営業広告ツールとして活用して、個々の企業及び業界全体への受注機会の促進・増加を図るものである」と、当部会員の積極的な活用に理解を求めて、閉会しました。



▲受注確保・機会の確保や促進への営業ツールに活用できる

協会けんぽ石川支部の 加入者・事業主の皆様へ

令和4年3月分（4月納入分）から保険料率が変わります!!

	現 行	令和4年3月分～
健康保険料率 【石川支部】	10.11%	9.89%
介護保険料率 【全国一律】	1.80%	1.64%

加入者の皆さまの医療と健康を支えるため、保険料のご負担につきまして、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。なお、保険料率の変更に伴い、給与からの控除額を適宜ご変更くださいますようお願いいたします。

加入者お一人おひとりの健康への取組が保険料率の上昇を抑える大きな力になりますので、ご協力のほどお願いいたします。

【お問合せ先】

協会けんぽ石川支部 金沢市南町4-55 WAKITA金沢ビル9階
TEL 076-264-7201（担当 企画総務グループ）

会員の皆様へ

年会費ご納入のご案内

5月18日（水）に皆さまのご指定口座から年会費を口座振替させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

なお、お振込みの方は、請求書をご送付させていただきますので、お手続き方よろしくようお願い申し上げます。

お問合せ：総務課 TEL 54-8888

N-As(エヌアス) 通信

ななお経営支援センター(N-As)
ななお創業応援カルテット
石川県よろず支援拠点能登サテライト

七尾(N)の明日(As)の経営／経営のなやみ、なんでも、お手伝い

「小規模事業者持続化補助金セミナー」開催

七尾商工会議所・ななお経営支援センターは、3月23日(水)七尾商工会議所3F会議室にて、石川県よろず支援拠点の中嶋克也コーディネーターを講師に、「小規模事業者持続化補助金セミナー」を開催し、6名が参加しました。

セミナーでは、中嶋克也コーディネーターより、「第8次締切分の公募要領の概要の予告」「補助金の概要」「スケジュール」「採択審査」「提出書類」「経営計画・補助事業計画書」の解説をしました。

第8次締切分は、補助上限額50万円の通常枠に加え、①成長・分配強化枠：最大200万円、補助率原則2/3(赤字事業者の場合には3/4)、②新陳代謝枠：最大200万円、補助率2/3、③インボイス枠：最大100万円、補助率2/3の3つの特別枠が設けられる予定です。

参加者からは、「提出書類の様式、事業計画書、記

載事例の検索方法について」「店内トイレの改修費用について」「業者のHPへの搭載について」等のお問合せがありました。

中嶋コーディネーターより、第8次締切分の公募要領が公表されたら先ず内容を確認し、環境変化に対応する販路開拓の取組みには、小規模事業者持続化補助金申請のご検討をして頂ければと参加者に伝えました。



お店のためのLINE活用セミナー

七尾商工会議所・ななお経営支援センターは3月1日(火)、石川県よろず支援拠点の守部和孝コーディネーターを講師に、「お店のためのLINE活用セミナー」を開催しました。

内容はLINE公式アカウントというお店用のLINEについてのセミナーです。参加者ははじめての方も、すでにお店で活用している方もおられ、3名が参加しました。アカウントの開設、基本設定、リッチメニュー、LINEのAIの活用と幅広い機能について解説や、LINEの最新事例の4つが紹介されました。参加者はそれぞれ自分の店では、どのように活用すればいいのかも考えながらセミナーを受講されていました。参加者のひとり「自分のお店にさっそく活用していきたい」との感想を伝えてくれました。

守部講師は、「LINEをなんとなくはじめる方が多いのですが、目的を決めてどのように活用するかを描いておくことが大切です」と伝えていました。

七尾商工会議所では毎月セミナーを開催していくので、ぜひお気軽にご参加いただければと思います。



「石川県よろず支援拠点」能登サテライト

専門家による無料の経営相談で、経営課題全般を解決するまでサポートします!!
お気軽にご相談ください。



月曜日・水曜日・木曜日
【相談分野】
売上拡大、経営改善、リテールサポート、マーケティング、事業承継

■中嶋 克也(なかしま かつや)



火曜日・金曜日
【相談分野】
IT活用、売上拡大、マーケティング、IT戦略

■守部 和孝(もりべ かずたか)

石川県新型コロナウイルス感染拡大防止協力金

第9次 令和4年2月21日(月)～3月21日(月)の期間分

申請期間 ▶ 令和4年5月10日(火)まで

要請内容 ▶ 飲食店営業（食品衛生法）許可を受けている店舗の午後8時から翌午前5時までの営業自粛及び酒類提供の終日自粛（認証店の場合は、午後9時から翌午前5時の営業自粛及び酒類提供を午後8時までとする選択も可）

申請書類の入手方法 ▶ ● 石川県商工労働部経営支援課 ● 県のホームページからダウンロード
● 各市町の商工担当課 ● 各商工会議所、各商工会

申請方法 ▶ ● 簡易書留など、郵便物の追跡ができる方法で郵送してください。
令和4年5月10日(火)当日消印有効です。
【宛先】〒920-0864 金沢市高岡町12-45 ロイヤルシャトー南町A
石川県新型コロナウイルス感染拡大防止協力金（第9次）申請受付係 宛

郵送での申請 ▶ ● 県ホームページの申請用Webサイトから申請してください。
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kinyuu/keieishien/kyouryokukin8.html>

Webでの申請 ▶ ● 県ホームページの申請用Webサイトから申請してください。
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kinyuu/keieishien/kyouryokukin8.html>

協力金に関するお問合せ先 ▶ 石川県事業者支援ワンストップコールセンター
電話：076-225-1920
受付時間：9時～18時まで（土、日、祝祭日も開設）

国・県・市 事業復活支援金

コロナの影響で売上が減少している皆様へ

国 事業復活支援金

申請期限 2022年5月31日(火)まで

給付額	売上高減少率	法人	個人
	▲50%以上	最大250万円	最大50万円
	▲30%～50%	最大150万円	最大30万円

※基準月（2018年11月～2021年3月の間で売上高の比較に用いた月）を含む事業年度の年間売上高

【相談窓口】
0120-789-140
(携帯電話からもつながります)



申請方法 オンライン申請のみ

詳しくはコチラから➔

県 石川県事業復活支援金

申請期限 2022年8月1日(月)まで

給付額	売上高減少率	法人	個人
	▲50%以上	一律50万円	一律20万円
	▲30%～50%	一律30万円	一律12万円

国の給付通知書を大切に保管してください。



申請方法 ● 郵送による申請
● オンラインによる申請 https://ishikawa-shienkin.jp/jigyo_fukkatsu/

↑詳しくはコチラから

【お問い合わせ】
石川県事業者支援ワンストップコールセンター TEL:076-225-1920 ※午前9時から午後6時まで（土、日、祝日も対応）

市 七尾市事業復活支援金

申請期限 2022年7月31日(日)まで

給付額	売上高減少率	法人	個人
	▲30%以上	一律20万円	一律10万円

国の通知書を大切に保管してください。



申請方法 郵便受付のみ

【お問い合わせ】
七尾市役所産業部産業振興課 TEL:0767-53-8565 ※午前8時30分から午後5時15分まで（土、日、祝日は休み）
E-mail:sangyou-s@city.nanao.lg.jp

↑詳しくはコチラから

◎お店のためのInstagram活用セミナー

定員：5名限定 (先着順とさせていただきます。)

日時：2022年4月26日(火) 14:00～16:00

場所：七尾商工会議所 2F 研修室 (七尾市三島町70-1)

持物：メールアドレス、スマホ、お持ちであればノートパソコン

共催：七尾商工会議所 七尾経営支援センター
公益財団法人石川県産業創出支援機構

Instagramの最新機能を
初心者にもわかりやすく
解説します！

実際にアカウント
管理や、運用に
ついて！

店舗ビジネス、
特に女性向けの
ビジネスをされている方は
ピッタリな内容です。



※同封のチラシをご覧ください。

(公財)石川県産業創出支援機構
石川県よろず支援拠点
コーディネーター
講師 守部 和孝



◎商圈分析と活用セミナー

新規出店のときの商圈分析の事例をもとに、

- ・ 商圈内の総人口、年代別人口、世帯数、世帯特性
- ・ 競合店、取扱商品の需要、出店可能性等の商圈情報を収集し、活用する方法をご案内します。

定員：5名限定 (先着順とさせていただきます。)

日時：2022年5月26日(木) 14:00～15:30

場所：七尾商工会議所 2F 研修室 (七尾市三島町70-1)

○使える商圈分析システム「地図で見る統計 (jSTAT MAP)」をご案内します。 講師 中嶋 克也

売上計画
をつくりたい

補助金の計画書
をつくりたい

お客さんを
増やしたい



(公財)石川県産業創出支援機構
石川県よろず支援拠点
コーディネーター



お申込み・お問い合わせ先

- 公益財団法人 石川産業創出支援機構 (ISICO)
石川県よろず支援拠点 TEL: (076) 267-6711
- 七尾商工会議所・ななお経営支援センター
TEL: (0767) 54-8888

セミナーのお申し込みは
コチラから



経営力強化総合支援アドバイザー派遣事業

事業者の「回復」から「成長」まできめ細やかに支援するため、企業負担のない充実した支援を継続します。

【派遣対象】 市内に事業所を有する中小企業

【補助対象】 専門家の謝金及び旅費

【企業負担】 無料

【派遣回数】 上限なし

(ただし、直近6カ月の売上がコロナ前まで回復している企業は3回まで)

【派遣窓口】 七尾商工会議所 TEL 0767-54-8888

※お問合せ・お申込みは、今月号の折込みチラシでお願い致します。

<令和3年度のアドバイザー派遣事例(一例)>

- ✓ 非鉄金属製造業が、工場見学の受入等の産業観光への進出を決定
- ✓ ホテル業が、敷地内の自然を活かしたグランピングへの進出を決定
- ✓ エステ業が、外見変化に悩むがん患者向けに、施術メニュー(ウィッグやカパーメイク等)の提供を決定

小丸山城址公園保勝会の ライトアップ・ イルミネーションの設置

小丸山城址公園保勝会は、市民の憩いの場である小丸山城址公園の景観向上と集客効果を高めるため、さくらの花見にあわせ、ライトアップ・イルミネーション事業を行っています。

第一公園の池の周りに、ボンボリを設置し、さくらの木をイルミネーションにより彩を加えることにより、より一層さくらの魅力を高め、心地よい花見を演出しています。

5月8日(日)までライトアップ・イルミネーションを設置していますので、是非小丸山城址公園に足を運んでいただき、さくらの花見をお楽しみください。



「『ちびだら消費』と『ヘルシースナッキング市場』」

コンビニ発のヒット商品や新しいカテゴリーの商品はたくさんありますが、最近、私が面白いと思うのが、ちぎりパンや小分けパンです。パンが最初から小分けにできるように、小さく区切ってあったり、小さいサイズのパンやパイが一つの袋に複数個入っていたりするものです。

この「小分けができる」「ちぎれる」など一度に食べきらないことが前提の食品にはいくつかの特徴があります。

- (1) おなかの空き具合に合わせて適量ずつ消費できる、
- (2) いざとなれば複数人でシェアできる、(3) ちぎるという行為がちょっとした快感もあり気分転換になる、といったことです。

一度に消費しないで、少しずつちびちびと取るというスタイルは、ペットボトルのお茶の登場で、飲料の分野では大きなトレンドになり、一気に定着しました。コーヒー系飲料もペットボトル入りやふた付きの缶に入ったものが登場してヒットしました。飲料業界でいう「ちびだら飲み」ですが、単に容器の形状が変わっただけでなく、飲用シーンそのものに変化をもたらしました。食卓や居間、カフェなどの店舗で急須やカップを使うのが当たり前だったお茶を、オフィスの机の上や、アウトドアなどでも楽しめるように大きく広げました。

食べ物やスナックも食事の際に一度にたくさん食べるのではなく、間食を効果的に取り入れて食事の回数を増やすスタイルは「ヘルシースナッキング」と呼ばれ、ダイエットに有効として注目されています。一般に、間食すると太

ると考えられていますが、一日に摂取する総カロリーを増やさずに食事の回数を増やして、強い空腹感をつくらないようにすると、かえって太りにくくなるという研究結果が出ています。

このためヘルシースナッキングは、ダイエット法の一つとして数年前から米国で流行していました。国内でも外食の自粛や在宅テレワークの普及などで、自宅で食事を取ることが増え、ここにきて再び注目を集めています。

小腹が空いたらカロリー控えめで血糖値が急上昇しにくいおやつを取り、可能ならば、同時にビタミンやミネラル、食物繊維、タンパク質などを補給できれば一石二鳥です。米国ではナッツやドライフルーツがヘルシースナッキングの代表的な食品とされています。国内でもさまざまな食品メーカーがこのジャンルを狙って機能性を加えたクッキーやチョコレートなどの商品を発売しています。しかし、まだ開拓の余地はあり、これから大きくなる分野だと私は見えています。

全国各地の道の駅や産直売り場をのぞくと、ドライフルーツや米粉を使ったスナック、干し芋、あるいは海産物の干物など、うまく原材料や加工法、パッケージなどを工夫すれば、ヘルシースナッキングにぴったり、と思える商品がたくさんあります。良質の乳製品や豆類、雑穀類などの素材もうまく生かせる分野だと思います。商品を出している大手食品メーカーだけでなく、地方の中小企業も特徴ある商品づくりができそうに感じます。

日経BP総合研究所 上席研究員 渡辺 和博



【プロフィール】◇渡辺 和博／わたなべ・かずひろ

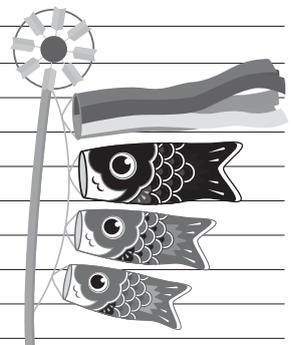
日経BP総合研究所 上席研究員。1986年筑波大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年日本経済新聞社入社。IT分野、経営分野、コンシューマ分野の専門誌編集部を経て現職。全国の自治体・商工会議所などで地域活性化や名産品開発のコンサルティング、講演を実施。消費者起点をテーマにヒット商品育成を支援している。著書に『地方発ヒットを生む 逆算発想のものづくり』（日経BP社）。

4月 April

16(土)	七尾未来アワード・プレゼンテーション 公開審査会/表彰式
17(日)	
18(月)	
19(火)	七尾の未来構想委員会
20(水)	
21(木)	
22(金)	
23(土)	
24(日)	
25(月)	
26(火)	令和4年度青年部定時総会
27(水)	ななお創業応援カルテット連絡会議
28(木)	
29(金)	
30(土)	

5月 May

1(月)	
2(火)	
3(水)	
4(木)	
5(金)	
6(土)	
7(日)	
8(月)	
9(火)	
10(水)	正副会頭会議
11(木)	
12(金)	
13(土)	
14(日)	
15(月)	



青柏祭

令和4年の青柏祭でか山は、5月3日～5日の再開・継承に向けて取り組んでいます。

「青柏祭の曳山行事」は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、この2年間、中止・縮小を余儀なくされました。また、地域経済や地域活動にも深刻な影響が及んでいます。

現況は、決してコロナ前の日常に戻ったわけではありませんが、ワクチン、検査、治療薬等の普及による予防、感染拡大を防止しながら、日常生活や経済社会活動を継続できるよう行動制限の緩和の取組を進めていこうとする動きが国の方針にも出てきています。

こうしたなかで、令和4年の青柏祭でか山につきましては、現在、祭本番に向けて、3山町がそろって、粛々と地山作りに取り組んでおり、また、石川県及び七尾市からも感染防止対策にご支援をいただき、コロナ禍で中止となった伝統文化行事の再開・継承に向けて取り組んでいます。

今後の石川県の感染状況等に関するモニタリング指標に照らし合わせながら、実施可否を判断することになりますが、地山作り及びでか山巡行にあたっては、3密回避、マスク着用、手指消毒等の感染予防策はもとより、参加者の抗原検査など、感染対策をより徹底したうえで、実施しようとするものであります。

皆様方のご理解、ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



ホームページ

